プレス発表資料

令和８年９月25日
秋　田　大　学

医学生が地域に入り、住民とともに「これからの地域医療」を考える
― 仙北市で医療 MaaS オータムキャンプを開催 ―

秋田大学（学長：南谷　佳弘）医学部附属病院医療 DX センター遠隔医療推進部門（AUTELM）、同総合診療医センター、仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座は、仙北市と連携し、本学医学科の学生を対象とした「フィールドで学ぶ！医学生のための医療 MaaS オータムキャンプ」を 10 月 24 日（土）・25 日（日）の 2 日間開催します。

今回の企画では、仙北市で実際に地域を歩き、住民の声を聞きながら、これからの地域医療のあり方を医学生、住民、自治体、大学がともに考える実践の場とすることを目指しています。

高齢化や医師不足が進む地域では、医療を地域へ届ける仕組みや、限られた医療資源を地域全体で活用する新たな発想が求められています。24 日には、学生が上桧木内地区・桧木内地区でフィールドワークを行い、地域の観察や住民との対話を通して、医療課題について考えます。25 日には、地域住民との意見交換会を行い、学生が現場で気づいた課題と、住民が日頃感じている課題を持ち寄り、医療 MaaS などの新しい仕組みを地域医療にどのように生かせるかを一緒に考え、アイデアを発表します。

【開催内容】

〇１０月２４日(土)

14：30　　上桧木内駅　到着
14：30～15：10　地域探索
15：10～15：50　住民との対話（紙風船館）（仙北市西木町上桧木内大地田３－１）
16：00　終了

〇１０月２５日(日)

9：15～9：55　学生グループワーク①（地域医療の仮定案の作成）
10：00～10：50　住民との意見交換会
10：50～11：25　学生グループワーク②(発表準備)
11：30～12：30　学生発表、ディスカッション、講評
12：30　終了

【お問い合わせ先】
秋田大学医学部附属病院
医療 DX センター遠隔医療推進部門
担当：山岡
TEL：018-801-7179
E-mail：iryomaas@jimu.akita-u.ac.jp